

第一回横浜港シェアリングエコノミー研究会

議事概要

日時：令和2年12月2日（水）10：00～11：15

場所：横浜第二合同庁舎 13階131・132会議室（オンライン併用）

1. 研究会設立趣旨の説明にて、規約が了承された。
2. 意見交換では、今後の進め方について参加者から以下のような意見があった。

【陸運事業者】

- ・保有している車両の維持管理、運用面の負担が大きくなっており、シャーシシェアリングは理想的な構想。是非ともシャーシシェアリングを実現して欲しい。
- ・神奈川県トラック協会海上コンテナ部会は重点施策として「安全・環境・コンプライアンス」を推進しているが、シャーシシェアリングは「環境」に配慮しているという側面が強いので、積極的に参画していきたい。
- ・シャーシプールをターミナルの近傍に設けることで、走行距離を削減し、ドライバーの労働環境改善にもつながる。働き方改革・コンプライアンスにも有効な手段である。
- ・このシャーシシェアリングを実現するためにはヘッドとシャーシの連結組み合わせなど、所要の手続きが必要なので、適切な運行管理が出来るしっかりした運営事業主体を構築する必要がある。

【事務局】

コンプライアンスをしっかり守れる形で運営の在り方を検討することも大きな論点となる。運営主体の事業スキームも含め、シャーシシェアリングのあるべき姿について検討できればと考えている。

以上